

## 親子ひろば・学童保育所について

国分寺・生活者ネットワーク **多良京孝子**

☆子育て支援である親子ひろばの充実を。

問) 子育て中あるいは妊婦などの利用者が気軽に相談でき、落ち着いて過ごせる居場所となるために受け入れ側のスキルアップが重要。勉強会やケース会議を定期的に位置づけるべきでは。**子ども福祉部長** 体制を強化していきたい。

問) 親同士の交流を深め、悩みの解消につなげるためにも実施回数を増やすことが有効である。**子ども福祉部長** 週1回のところは2〜3回に。

問) 健康推進課と連携し、「こんにちは赤ちゃん事業」や「3, 4ヶ月検診」で積極的に親子ひろば事業の紹介をすることで、多くの乳幼児とその保護者に知らせることができるとは。**福祉保健部長** 積極的に対応してみたい。

☆21年度策定予定の児童館・学童保育所の基本方針に盛り込むべき点をいくつか提案する。

問) 市内の保育園は19時までの延長保育があるが、学童保育所は18時まで。お迎えのない場合は原則17時に降所し、子どもだけで過ごすことになる。保育園と学童保育所のギャップを埋めるためにも19時までの延長保育を。**子ども福祉部長** 具体的な検討をしていきたい。

問) 食の安全が社会問題となっていることも踏まえ、おやつ安全基準をつくるべき。**子ども福祉部長** 検討させていただきたい。

## 介護保険積立金は高齢者に還元を

日本共産党国分寺市議団 **やなぎ孝義**

《介護保険事業計画について》

問) 介護保険料の負担を増やさないために、介護保険積立基金の活用が必要ではないか。

**福祉部長** 被保険者に還元するのが適切である。  
※年間で300万円あれば、所得の少ない階層の保険料を上げなくて済むことを指摘し、負担軽減の対策を求めました。

問) 介護サービス利用上限に対する利用率は。**福祉部長** 19年度は44%、18年度は45%となっている。

問) 限度額の半分に満たない額で推移していることをどう考えるか。

**福祉部長** アンケートでは、50%強の方々、負担を感じると答えている。

問) 利用料負担軽減制度を復活するべきだ。

**福祉部長** 受けとめて検討したい。

問) 機械的に介護サービスを切るような指導をするなどという都道府県への通達が、厚労省から再三出されているが、どう考えるか。

**福祉部長** 通知の趣旨を事業者の説明し適切な運営ができるようお願いしている。

《自衛隊激励会の中止について》

問) 今後実施しないよう3月議会で求めたが、来年はどうするのか。

**市民部長** 開催しない旨を自衛隊に伝えた。

将来の財政規律を意識した  
施策の優先順位を無党派（民主党国分寺クラブ） **三葛敦志**

1. 国分寺駅北口再開発～総事業費の影響  
道路特定財源の一般財源化の影響について。

答) 国・都からは、明確な答え無し。  
代替地を「自分で探せ」と言っていると聞く。

答) そういう言い方はしていないと思う。

2. 市役所問題～大胆な発想の転換を  
市役所見直し不透明で職員試験受験者数減に。

答) 応募者数が昨年から半減したのは事実。  
モチベーションを高めるためには

答) 難しい問題。来年度に向け方策考える。  
ハード面での執務環境として不十分な点

答) 分散化・窓口が狭く、会議室も不足。

たましんの会議室を好意で借りた。  
農水省検査所にも会議室のアプローチせよ。

答) アプローチしていなかった。検討する。  
発想転換の必要性～合併・迷惑施設の併設も

答) 大胆で示唆に富んでいる。

3. 施策の優先順位と市民の意向

「北口最優先」の判断の是非は市民に問え。

答) 3年前の市長選で認められた。

その後、市役所のプレハブ化等状況も変化しており、今市民意向を問わない理由とはならない。市長は市長選へ出馬表明したが、財政見直し・施策の優先順位が明確でない中、流れ作業のように応援するという判断はできない。

中小企業診断士に  
無料経営相談できます無党派（民主党） **興津秀憲**

興津) 世界経済不況・国内不況の折、貸し渋り貸しはがし等市内業者の経営環境は悪化している。市は緊急経済対策を打ち出した。しかし年末・年度末に向けた資金調達に苦しんでいる企業の方々も多くいる。保証協会の保証を受けられる企業はまだ余裕があるが、さらに厳しい状況を強いられている企業の方もいらっしゃる。病気をしたなら病院へ。と同じに企業も経営診断を受けて、経営指導を受け、今後の対策を図り、年末・年度末の資金手当も出来るように、経営・生活相談事業の充実を図るべきである。

部長) 議員提案を受け、急遽東京都と交渉した。12月は全額都費で中小企業診断士の方を市に派遣していただく事とし、市内業者の方々の経営相談にあたっていただく。その後は商工会とも連携して事業継続も考えてゆく。

興津) 分散庁舎になっている。新年度に向けて市民窓口の利便性の確保を。又、新入学等教育委員会の臨時窓口も本庁舎に設置して欲しい。

部長) 昨年同様。休日開庁も考える。教育部の臨時窓口も設けて対応したい。

その他) 財政の歳入増加策と歳出削減策としてぶんバスの契約方法。HPバナー広告。駅前土地の有効利用。電算システム運用と管理について。学校クラブ活動の支援策等を質問した。

インクルーシブ教育に  
向けた取り組みを市民サイド **亀倉順子**

問) 流れはインクルーシブであるとしてスタートした特別支援教育。しかし「共に学びあう」場が細分化される危惧がある。①副籍制度を積極的に活用し、地域の学校でも学び、交流できるように取り組むべき。②第二中学校にしかない特別支援学級を他校にも設置し、共に学び、理解しあう環境を整えよ。

教育長) ①同感だ。副籍の意義を啓発し、スムーズに実施できる様に協議する。②必要性は認識している。判断はしている。準備を整える。

問) 1月に改正されたDV法に基づく支援策では「同行支援者」の養成が必至、来年度実施を。**市民生活部長** 来年度実施する。

問) 若年層にDV被害が増加している。暴力の連鎖を断つために教育が重要。学校で取り組みを。**教育長** 教育の中で取り組む課題。

問) 高齢者生活支援ヘルパー事業の対象者を広げ、事業の目的が達成できるよう規則改正を。**福祉保健部長** 改正に向けて検討する。

問) 障がいを持つ中学生が利用できる学童保育制度。希望者も多い。限られた空間で小・中学生が活用している。工夫改革も必要。民間の経験、知恵も取り入れれば対象人数の増は可能だ。**子ども福祉部長** 来年4月実施は難しいが、来年度実施に向け具体的に検討を始める。

仮設園は市の都合  
ひかり本園舎計画は即刻に日本共産党国分寺市議団 **中山幸子**

問) 都内での妊婦死亡事件後の調査では、専門治療室満床と医師不足が受け入れ拒否の理由。周産期医療の深刻な状況は07年には国も把握していたが対策せず放置。整備等を国に求めよ。**市** 市長会は都に要望し、都は12月に周産期医療緊急対策を表明。医師不足改善は国に要望。

問) 妊婦健診はかかりつけ医がない場合が増える基で厚労省が言う14回は必要。取り組みは。**市** 格差は大きい。財政的援助を都に要望する。

問) 都知事の公約である中学3年生までの医療無料化。都の示した内容に伴う市の負担は。**市** 約2千万円。事前協議なしにルール違反。

問) 恋ヶ窪暫定園舎の活用による待機児解消は認可保育園の誘致をすべきでは。**市** 民設民営の認可保育園を基本に考える。

問) ひかり保育園舎計画は仮設保育園と同時にあるべき。恋ヶ窪保育園建替えの教訓は。**市** 方針が二転三転、民営事業者の都合もあり。

★教訓は本園舎と暫定園舎を同時に計画するもの。**市長**はこの教訓を認識すらしていない。

問) 治安の悪化等で学童保育所への期待と要望が質的に変化。迎え時間が遅れた時の対応は。**市** 具体的な状況は把握していく必要がある。

問) 西武国分寺線の踏切交差での安全対策は。**市** 今年度中に多摩湖線並の対策で目途を。

## 会派が変更になりました

**変更前** 無党派（民主党）：興津秀憲  
無党派（民主党国分寺クラブ）：三葛敦志

第4回定例会後、下記のとおり会派が変更になりました。

**変更後** 無党派（民主党市議団）  
：三葛敦志、興津秀憲